

漁海況月報

令和2年4月1日

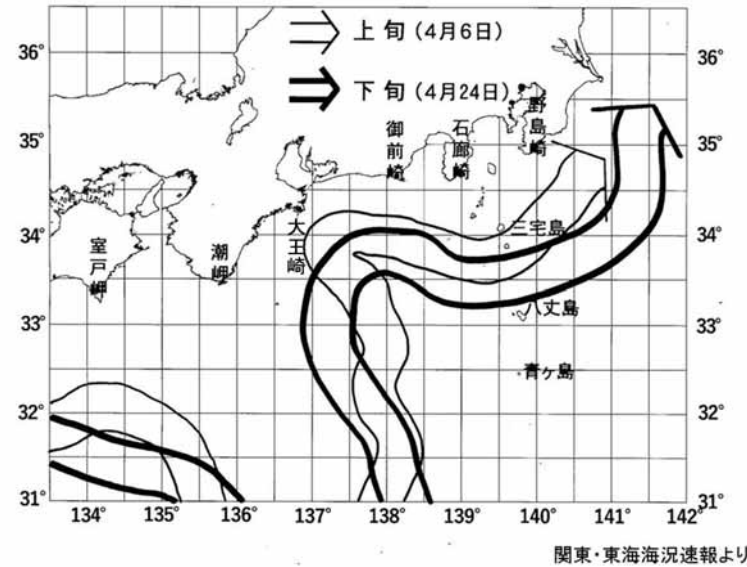
No.4 ~4月30日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



関東・東海海況速報より

4月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.6	16.6	15.9	16.7	16.4	15.9
	0.9	1.6	0.9	0.6	0.2	0.9
中旬	15.6	17.2	16.7	17.2	16.6	16.5
	0.3	1.8	1.2	0.8	0.0	0.7
下旬	16.3	16.7	16.1	16.8	17.1	16.9
	0.1	0.8	0.0	-0.3	-0.3	0.2
月	15.8	16.8	16.2	16.9	16.7	16.4
	0.4	1.4	0.7	0.4	0.0	0.6

*地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

4月を通じてA型で、潮岬を大きく離岸し、30°N付近まで南下した後に遠州灘沖まで北上し、三宅島付近を通過して北東へ流去した。

上旬は遠州灘沖の北上部が大王崎に接近するなど、熊野灘～遠州灘を接近する流路となり同海域に暖水波及が見られた。

中旬になると熊野灘～遠州灘を上旬より離岸する流路となったが、引き続き同海域に暖水波及が見られた。また、石廊崎から大島西水道に向けても暖水波及が見られた。

下旬には再び熊野灘～遠州灘沖に接近する流路となり、同海域に暖水波及が見られた。

【県下沿岸域】

上旬は沼津が「平年並」、伊東、下田、雲見、焼津が「やや高め」、稲取が「高め」であった。中旬は伊東、沼津が「平年並」、下田、雲見、焼津が「やや高め」、稲取が「高め」であった。下旬は、伊東、下田、雲見、沼津、焼津が「平年並」、稲取が「やや高め」であった。

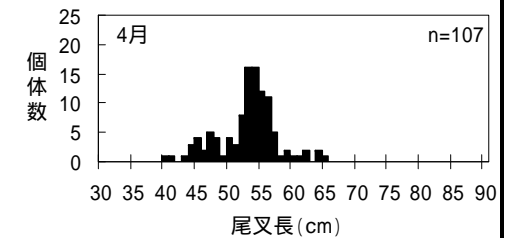
【竿釣りカツオ】

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは110.7トンで前年同月(149.5トン)の74%であった。魚価は587円/kgで前年同月(518円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、中(尾叉長53、54cm)を主体に、小(尾叉長47cm)、大(尾叉長59、62、64cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚げ量(県内主要5港)

期間	水揚げ量(ト)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻(ト)	平均単価(円/kg)
R2年4月上旬	23.7	11	2.2	584
中旬	55.7	12	4.6	556
下旬	31.3	15	2.1	645
R2年4月計	110.7	38	2.9	587
H31年4月計	149.5	49	3.1	518
H30年4月計	307.7	57	5.4	383



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は570.7トンで前年の同漁場の水揚げ量(306.6トン)の1.9倍であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、81.5トンで前年(43.8トン)の1.9倍、平年の1.4倍であった。水揚げ量の多い漁場は、富戸漁場(123.2トン、ブリ、さば類、スルメイカ)、次いで川奈漁場(117.9トン、ブリ、マイワシ、さば類)、古網漁場(116.7、マイワシ、カタクチイワシ、さば類)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)の通りで、ブリは232.9トンで、前年比3.0倍、平年比3.1倍、銘柄わらさ主体であった。水揚げされたブリのうち、銘柄わらさは159.4トン、前年比3.9倍、平年比3.9倍であった。マイワシは129.5トンで、前年比1198.9倍、平年比3.4倍であった。さば類は103.0トンで前年比62%、平年比1.7倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは33.2トン、前年比1.3倍、平年比1.4倍、ゴマサバは69.9トン、前年比49%、平年比1.5倍であった。スルメイカは68.6トン、前年比2.7倍、平年比3.8倍で、4月の水揚げ量としては昭和57年以降、最も多かった。カタクチイワシは10.4トンで、前年比2592.3倍、平年比23%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の水揚げ量の割合は、ブリでは富戸漁場が40%(93.2トン)、川奈漁場が39%(90.8トン)、マイワシでは古網漁場が70%(90.8トン)、伊豆山漁場が16%(20.4トン)、さば類では北川漁場が35%(35.8トン)、赤沢漁場が21%(22.0トン)、スルメイカでは北川漁場が57%(39.3トン)、富戸漁場が20%(13.9トン)、カタクチイワシでは古網漁場が93%(9.7トン)を占めた。

*平年：昭和57年～平成31年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	232.9	3.00	3.13	富戸、川奈
マイワシ	129.5	1198.92	3.41	古網、伊豆山
さば類	103.0	0.62	1.71	北川、赤沢
スルメイカ	68.6	2.70	3.84	北川、富戸
カタクチイワシ	10.4	2592.25	0.23	古網

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船はたもすくいで操業した。漁場は上旬が銭洲、中旬が銭洲と三本、下旬がひょうたん瀬、三本、三宅に形成された。水揚量はマサバ 800 トン(前年同月比 2.1 倍) ゴマサバ 159 トン(前年同月比 38%) であり、1 隻あたり水揚量はマサバ 22.2 トン(前年同月 11.3 トン) ゴマサバ 4.4 トン(前年同月 12.5 トン)であった。1 キログラムあたりの平均単価はマサバ 88 円で前月(81 円)を上回り、前年同月(89 円)を下回った。ゴマサバは 116 円で前月(128 円)を下回り、前年同月(99 円)を上回った。

水揚げされたマサバの体長組成は 33cm にモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は 29cm と 34cm にモードを持つ二峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R2年4月上旬	291	54	5	13	22.4	4.1	103	129	銭洲
中旬	354	36	5	14	25.2	2.6	79	122	銭洲 三本
下旬	155	69	3	9	17.3	7.6	80	102	ひょうたん瀬、三本、三宅
R2年4月計	800	159	13	36	22.2	4.4	88	116	
H31年4月計	385	423	12	34	11.3	12.5	89	99	銭洲 三本 三宅
H30年4月計	197	532	13	40	4.9	13.3	122	103	銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

令和2年の春漁は4月14日が初漁日であった。4月の出漁日数は1日、水揚量は2.3トンであった(前年同月の出漁日数は4日、水揚量は8.6トン)。主漁場は焼津沖~相良沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると32~33mm、36~37mm、41~42mmの3つにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R2年4月上旬	-	-	-
4月中旬	2.3	1	焼津沖~相良沖
4月下旬	-	-	-
R2年4月計	2.3	1	-
H31年4月計	8.6	4	焼津沖~相良沖
H30年4月計	142.6	8	由比沖~富士川沖
H29年4月計	140.4	8	富士市沖、富士川沖、三保沖、焼津・大井川沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が187kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が341kgであった。平均水揚量は287kgと前年同月(352kg)の81.5%、平年同月(過去5か年平均:588kg)の48.7%であった。また、総水揚量は404.7トンで前年同月(446.7トン)の90.6%、平年同月(1,123.6トン)の36.0%と、前年、平年同月を下回った。平均単価は607円/kgと、前年同月(881円/kg)の69.0%、平年同月(628円/kg)の96.6%と、前年同月を下回り、平年同月並となった。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg)	平均単価(円/kg)
新居	39.3	11	136	289	626
舞阪	149.8	11	434	345	666
福田	94.4	11	268	352	459
御前崎	28.2	7	76	371	529
吉田	65.4	13	340	192	696
静岡	27.5	12	158	174	639
R2年4月計	404.7	65	1,412	287	607
H31年4月計	446.7	69	1,270	352	881
H30年4月計	1,473.2	108	2,297	641	772

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同月:過去5か年(平成27~平成31年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では67.5トン(前年同月比1.5倍、平年同月比90.3%)、静浦港では0.2トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比3.1倍)、沼津港では999.5トン(前年同月比3.8倍、平年同月比2.4倍)、小川港では118.1トン(前年同月比51.1%、平年同月比60.7%)であった。カタクチイワシは、沼津港では52.9トン(前年同月水揚げ無し、平年同月比22.1倍)、小川港では4.1トン(前年同月比1.2倍、平年同月比29.0%)、静浦港、伊東港では水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシが129.5トン、カタクチイワシが10.4トンであった。

*平年:過去5か年(平成27~平成31年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月 3日	調査習熟航海	(1日間)
4月 6日 ~ 4月 8日	地先定線観測調査	(3日間)
4月 15日 ~ 4月 16日	サバ標識放流調査(高瀬・ひょうたん瀬)	(2日間)
4月 21日	いわし類卵稚仔分布調査	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

